



Q1 なぜ、区役所、市民館、図書館は移転するの？

A1 移転・整備によって、アクセスやバリアフリーなど現施設の課題の解消に加え、施設の利便性、耐震性、機能性向上などの効果が期待されます。このほか、市民意見としていただいた課題への対応を含め、現施設の継続利用と移転・整備の検討を行った結果、今回の再開発に合わせて移転・整備し、持続可能で宮前区全体の活性化を促す「核」としてのまちづくりを進めていくこととしました。

Q3 新しい宮前市民館・図書館や区役所は、いつ、どこにできるの？

A3 現在の事業計画では、市民館・図書館は駅前街区の再開発ビルの低層階に整備し、令和14(2032)年度に移転する計画です。
また、区役所は北街区の再開発ビルの低層階に整備し、令和18(2036)年度に移転する計画です。

Q5 再開発で交通量が増え、駅周辺の道路が渋滞するのでは？

A5 バスターミナルの出入口周辺に3箇所ある交差点を1箇所に集約することや、周辺道に右左折レーンを設置することなどにより、通過交通に配慮した駅周辺の交通流の改善を図っていきます。
なお、令和6(2024)年4月に準備組合が公表した環境アセスメント条例評価書において、これらの措置等を講じることで計画地周辺地域の生活環境の保全に支障はないものと評価されています。

Q2 鷺沼駅前に移転すると、遠くなって不便になる地域もあるのでは？

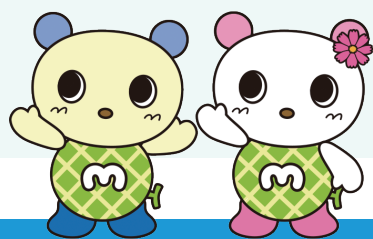
A2 再開発で、鷺沼駅のバスターミナルを約2倍の広さにし、バス乗降場を増設することで、小田急沿線からバス路線の新設や、向丘地区からの増便を行うなど、市民の皆さまの利便性向上と、宮前区全体の発展に向け、今年度末に改定予定の川崎市地域公共交通計画等を踏まえて、バス事業者と連携した取組を進めていきます。

Q4 現在の宮前区役所や市民館・図書館はどうなるの？

A4 移転した後の現区役所等施設・用地の活用方法については、令和10(2028)年度に策定予定の「(仮称)宮前区役所等施設・用地の活用に関する基本方針」において、活用コンセプトや導入機能のイメージなどをお示しする予定です。

Q6 再開発を契機に鷺沼駅は整備されるの？

A6 鷺沼駅の改良工事を含めた駅まち一体の都市空間が整備されることになりました。
令和13(2031)年度までに再開発ビル側と駅北口側をつなぐ南北自由通路と再開発ビルの地下1階に直結する改札口が新たに整備されます。



お問い合わせ先

- 再開発事業など、まちづくりに関すること
まちづくり局地域整備推進課 TEL：044-200-0483
- 市民館・図書館に関すること
教育委員会事務局生涯学習推進課 TEL：044-200-1981
- 区役所に関すること
宮前区役所企画課 TEL：044-856-3170
- 新区役所の整備・向丘出張所の活用に関すること
市民文化局市政推進課 TEL：044-200-2490
- 現区役所等施設・用地の活用に関すること
総務企画局公共施設総合調整室 TEL：044-200-0755

ホームページなどで 取組内容をお知らせ中！

ニュースレター第1～6号もこちらでご覧になれます。

ネット質問フォームを設置しています！

令和8(2026)年3月31日まで、本プロジェクトへの質問を受け付けています。ホームページの質問フォームかFAX(200-0984)でまちづくり局地域整備推進課まで。

いただいた質問については、質問の主旨と本市の見解をあわせてホームページ上に公表します。



宮前区 ミライづくり

宮前区の ミライづくり プロジェクト ニュース

令和8(2026)年2月発行
発行元 | 川崎市

第7号

多様なライフスタイルが実現できるまちを目指して

鷺沼駅前の再開発とあわせて 宮前区役所、市民館・図書館の 鷺沼駅前への移転など

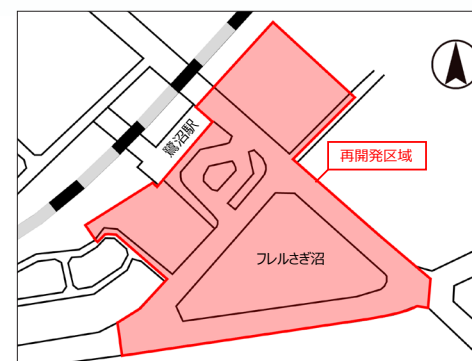
宮前区全体の将来を見据えた
取組を進めています



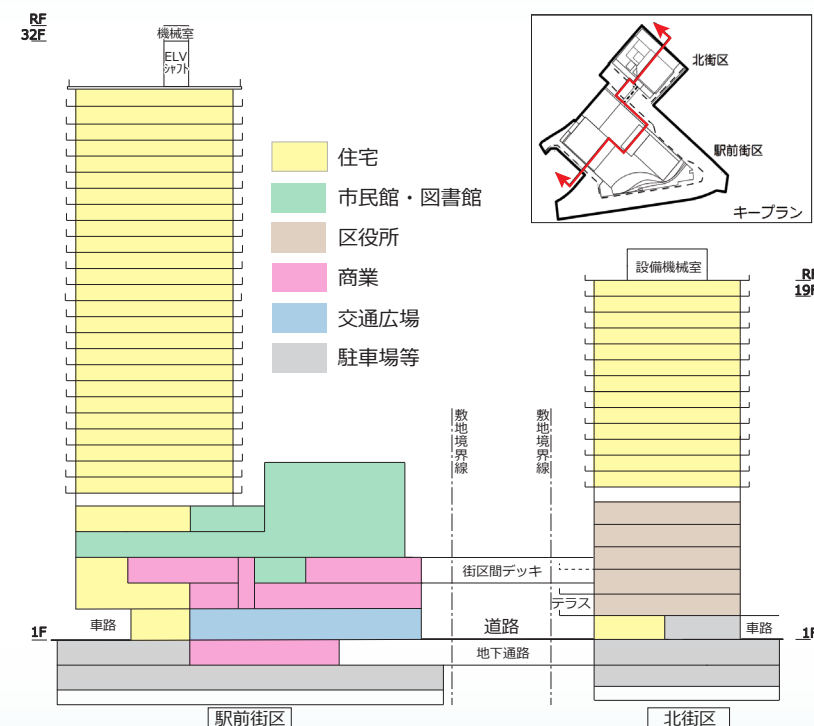
図書館3階イメージベース



完成予想ベース(組合提供)



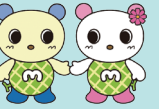
	駅前街区	北街区
敷地面積	約11,170㎡	約3,680㎡
建築面積	約9,440㎡	約3,150㎡
建蔽率	約85%	約86%
延べ面積	約83,193㎡	約26,123㎡
容積対象面積	約55,850㎡	約18,400㎡
容積率	約500%	約500%
階数	地下2階 地上32階	地下2階 地上19階
主たる構造	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造
建物高さ	約133m	約89m
住戸数	約342戸	約110戸



※本資料で使用されている図やパースは、今後変更になる可能性があります。

ミライづくりプロジェクト

川崎市では、区全体をより発展させるための取り組み（宮前区のミライづくりプロジェクト）を進めています。



宮前区役所、市民館・図書館の移転に向けて

●区役所

令和11(2029)年度の基本計画策定に向け、来庁者が利用しやすい環境の構築や、多様なニーズに対応したサービス提供に向けた検討を進めるとともに、引き続き関係事業者との調整を行っていきます。

●市民館・図書館

「新しい宮前市民館・図書館基本計画」に基づき、魅力的な空間づくりや事業・サービスの充実に向けて、諸室の配置計画等の検討を進めるとともに、官民の垣根を超えたフレキシブルな施設利用や、複合施設全体として一体感が感じられる運営等の工夫について再開発組合と協議を進め、魅力的な施設づくりを進めています。

現区役所等施設・用地の活用に向けて

活用コンセプトや導入機能のイメージ等を取りまとめる活用基本方針の策定に向けた新たな取組として、これまでに皆様からいただいた様々なアイデア等を活かしながら、いまの場所で実際に試してみる実践的な取組「宮前チャレンジLab」や意見交換を行い、持続可能性を考慮した検討を深めていきます。



実践的な取組
「宮前チャレンジLab」
(令和8年1月開催)

向丘出張所の機能の充実に向けて

地域交流イベント「向丘つながるサンデー」を開催するなど、地域の居場所づくり、交流の場づくりを進めるとともに、オンライン相談やオンライン申請等のサポートを行う取組について試行的に実施しています。

引き続き、「宮前区役所向丘出張所の今後の活用に関する方針」に基づき、市民の皆さまと一緒に、出張所の一層の活用を図るための取組を進めていきます。



出会いと交流の場となる
参加型イベント
「向丘つながるサンデー」
(令和7年5月開催)

駅アクセス向上に向けて

再開発事業により、交通広場の拡充整備や交差点の集約化など、駅周辺の交通環境の改善を行います。

また、交通広場の供用開始時期を見据え、路線バスネットワークの充実に向け、今年度末に改定予定の川崎市地域公共交通計画等を踏まえてバス事業者と連携した取組を進めていきます。



鷺沼駅前
交通広場

※令和8年1月
時点の様子

年度		H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)	R14 (2032)	R15 (2033)	R16 (2034)	R17 (2035)	R18 (2036)
ミライづくりプロジェクト	市民館 図書館	基本方針策定	基本的な考え方・基本計画策定		設計・管理運営計画策定に向けた取組					管理運営計画策定	整備工事				供用開始					
	区役所		施設全体の設計との調整				基本計画策定に向けた取組				基本計画策定	設計			整備工事			供用開始		
	現施設用地		基礎調査・市民参加による検討・実践的な取組								活用に関する基本的な考え方策定	活用基本方針策定	市民参加による実践的な取組の展開						新用途整備等	
	向丘出張所		市民参加による検討		活用方針策定						活用方針に基づく取組の推進									
再開発		計画検討	環境アセス手続・都市計画手続				基本設計	組合設立手続	実施設計		駅前街区工事				竣工	北街区工事			竣工	

鷺沼駅前地区再開発事業の進捗状況について

令和7(2025)年度から令和8(2026)年度にかけて「仮設バスロータリー整備工事」、「既存インフラ切り回し工事」、「駅前既存建物解体工事」が行われています。

工事の進捗に伴い歩行ルートの変更やバス乗り場の位置の変更、車両の交通規制が行われています。

令和8(2026)年3月末から鷺沼駅3番のりば及び4番のりばの位置が変わります。



川崎市HP



再開発組合HP



※最新の状況は、現地の掲示もしくは再開発組合HPをご覧ください

鷺沼駅周辺のまちづくりについて

鷺沼駅の改良工事について

鷺沼駅の改良工事を含めた駅まち一体の都市空間が整備されることとなりました。令和13(2031)年度までに再開発ビル側と駅北口側をつなぐ南北自由通路と再開発ビルの地下1階に直結する改札口が新たに整備されます。

駅まち一体の都市空間整備のイメージ



※本イメージは2025年7月時点での検討状況であり、今後の設計等により変更となる可能性があります。
※内容、テキスト、画像等の無断転載・無断使用を禁じます。(東急株式会社提供)

昭和医科大学 鷺沼キャンパスの 開校に向けて



昭和医科大学
HP

●キャンパスの整備について

鷺沼駅北側で、学生2,000人が学ぶ「昭和医科大学鷺沼キャンパス」を令和9(2027)年4月の開校に向けて工事を進めています。



※令和8年1月時点の工事の様子

●川崎市との連携・協力に関する協定の締結について

昭和医科大学と川崎市は、令和7(2025)年9月に連携・協力に関する協定を締結しました。

主な連携・協力事項

- ①医療系大学の特性を生かした生涯学習及び健康増進の推進
- ②地域の憩い・交流の場や大学施設の市民利用
- ③地域活動との連携による地域社会の振興
- ④災害時における大学施設利用 等



報道発表資料

